

2024年2月20日

# 港湾施設の整備・拡充に関する要望書

一般社団法人 セメント協会  
会長 不死原正文



2024年2月20日

国土交通大臣 齊藤 鉄夫 様

一般社団法人セメント協会  
会 長 不死原 正文

### 港湾施設の整備・拡充に関わる要望書

日頃は私どもセメント産業に格別のご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

「令和6年能登半島地震」で不幸にもなくなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げたいと存じます。

我が国はこのところ毎年地震、津波、水害・土砂災害、火山噴火等度々の自然災害に見舞われ、さらなる激甚化も懸念されているところでございます。こうした自然災害への備えはますます重要となっておりますが、セメントは引き続き防災・減災の社会資本整備に大きな役割を果たしてまいります。

さて、セメントは原料も含めると海上輸送に依存する割合が高く、環境負荷の低減やコストの観点からも、円滑な海上輸送を図っているところでございます。その拠点となる港湾施設においては、静穏度の確保改善が見られるなど毎年着実な整備がなされ感謝申し上げますところであります。しかし、一部の港湾においては水深の不足などによって、タンカーの運航効率が悪化しているケースや港湾設備の老朽化がみられます。

つきましては、こうした港湾施設の整備・拡充につきまして、これまで以上の特段の御配慮を賜りたく、以下についてご要望致します。

私どもセメント業界は能登半島地震からの復旧・復興と国土強靱化の歩みを決して遅らせることのないよう、業界一丸となってセメントの安定供給に努めていく所存でございますので、引き続き御支援賜りますようお願い申し上げます。

## 記

### <港湾施設の整備・拡充等による港湾利便向上にかかる要望>

- ① 静穏度を確保し、安全な荷役環境を整備するための防波堤、泊地の整備  
(要望港湾) 網走港、姫川港
- ② 大型船舶での大量一括輸送による輸送効率化と、船舶の安全な入出港を可能とするための、航路整備・水深確保  
(要望港湾) 紋別港、函館港、仙台塩釜港(2件)、岩船港、柏崎港、七尾港、松江港、徳山下松港、今切港、八代港(2件)、青方港、湯湾港
- ③ 港を安全・安心に利用する為の適切な老朽化対策工事の実施  
(要望港湾) 紋別港、仙台塩釜港、津松阪港、大分港、湯湾港
- ④ 早朝・夜間作業時の安全性・効率性確保のための照明設備の整備  
(要望港湾) 柏崎港、松江港
- ⑤ 滞船等による輸送コストの増加を抑制又は、港湾の利便性を向上させるための、円滑かつ柔軟な岸壁利用を可能とするバース調整等  
(要望港湾) 大船渡港、柏崎港(2件)、姫川港(2件)、高知新港、須崎港
- ⑥ 東日本大震災から復興関連の要望  
(要望港湾) 大船渡港、仙台塩釜港
- ⑦ 令和6年能登半島地震からの復旧・復興の要望  
(要望港湾) 金沢港(2件)、七尾港(2件)

### 新規要望

### <実現した要望(2022年度提出)>

- (要望二) 尼崎西宮芦屋港、東播磨港
- (要望三) 留萌港
- (要望四) 小樽港

### <取り下げた要望(2023年度提出)>

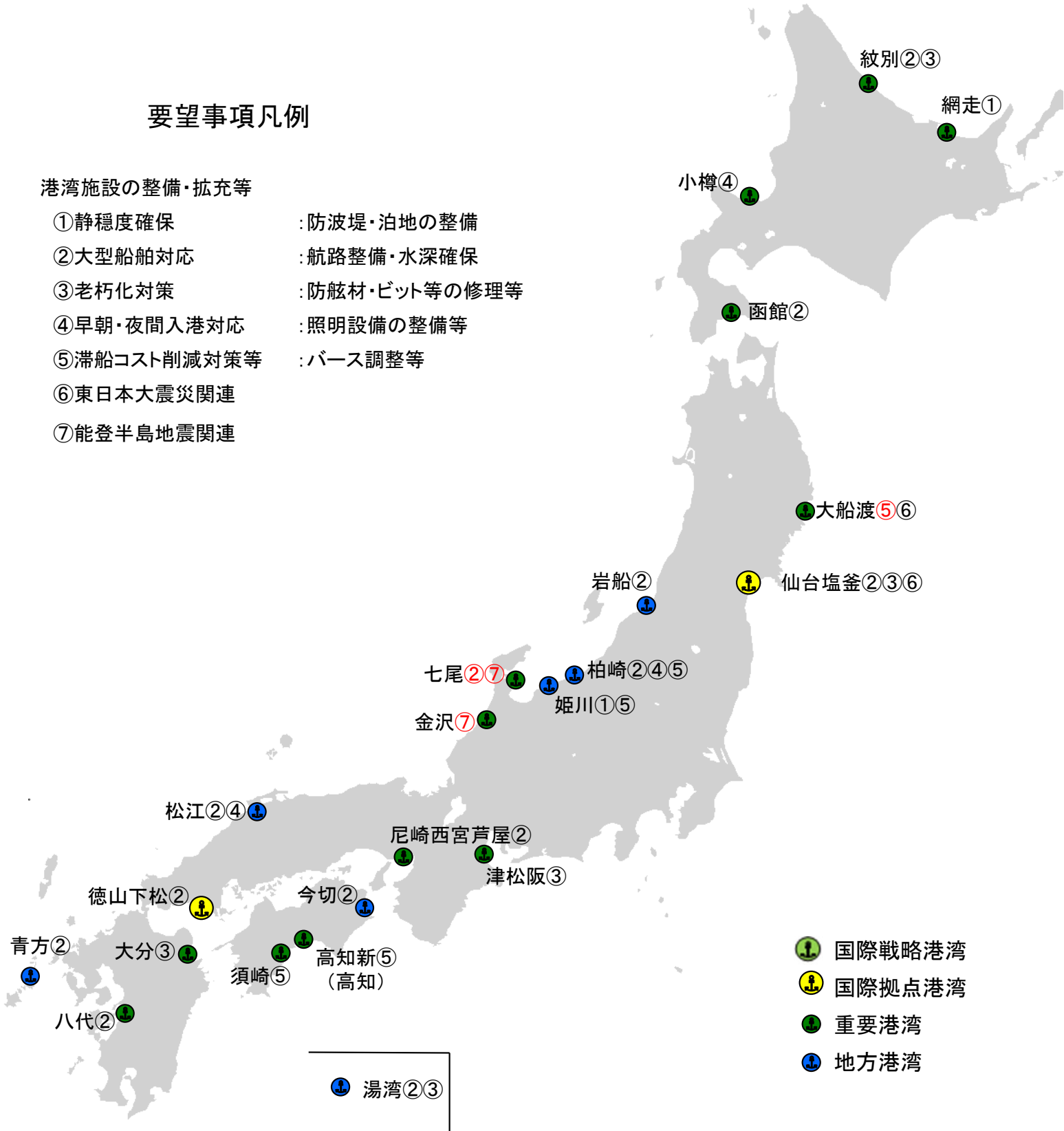
- (要望三) 姫川港、大分港
- (要望四) 鶴見港

# セメント協会要望箇所一覽

## 要望事項凡例

### 港湾施設の整備・拡充等

- ① 静穏度確保 : 防波堤・泊地の整備
- ② 大型船舶対応 : 航路整備・水深確保
- ③ 老朽化対策 : 防舷材・ビット等の修理等
- ④ 早朝・夜間入港対応 : 照明設備の整備等
- ⑤ 滞船コスト削減対策等 : バース調整等
- ⑥ 東日本大震災関連
- ⑦ 能登半島地震関連



赤丸数値は新規要望

## セメント協会加盟会社一覧

八戸セメント株式会社	代表取締役社長	明代 知也
日鉄高炉セメント株式会社	代表取締役社長	江頭 秀起
日鉄セメント株式会社	代表取締役社長	橋本 康裕
東ソー株式会社	代表取締役社長 社長執行役員	栗田 守
株式会社トクヤマ	代表取締役 社長執行役員	横田 浩
琉球セメント株式会社	代表取締役社長	喜久里 忍
荏田セメント株式会社	代表取締役会長	麻生 泰
太平洋セメント株式会社	代表取締役社長	不死原正文
敦賀セメント株式会社	代表取締役社長	山本 学
株式会社デイ・シー	代表取締役社長	上野山佳志
デンカ株式会社	代表取締役社長 社長執行役員	今井 俊夫
麻生セメント株式会社	代表取締役会長	麻生 泰
UBE 三菱セメント株式会社	代表取締役社長	小山 誠
明星セメント株式会社	代表取締役社長	高木 功
日立セメント株式会社	代表取締役 社長執行役員	株木 康吉
住友大阪セメント株式会社	代表取締役 取締役社長	諸橋 央典

以 上